

令和元年度

開催報告

(公社)砂防学会北海道支部研究発表会

日時: 令和元年5月10日(金) 14:30~17:20

会場: 北海道大学食資源研究棟3階F319セミナー室

砂防学会北海道支部では、北海道内の研究者・技術者を主たる対象として、学会の発表練習・研究に関する情報交換を目的に、令和元年度(公社)砂防学会北海道支部研究発表会を開催しました。

発表会では、8件の研究発表のほか、今年度から新しく創設された砂防学会北海道支部奨励賞を受賞された北海道立総合研究機構地質研究所の輿水健一氏に、「豪雨後に生じた拡大崩壊による生産土砂量の影響期間の検討」と題して受賞記念講演をいただきました。発表会には大学・研究機関・行政機関・民間コンサルタントから約40名の参加者があり、活発な質疑応答が行われました。



会場の様子



質疑応答



講評(山田支部長)

- ・本研究発表会の参加により、(公社)砂防学会CPD認定プログラム2.50単位が認められます。
- ・本発表会は砂防学会公募研究会「北海道における継続的な土砂移動に関する研究会」の活動でもあります。

令和元年度

(公社) 砂防学会北海道支部研究発表会

プログラム:

14:30～14:35 支部長 開会挨拶

14:35～15:00 2019年度支部奨励賞受賞記念講演

輿水健一(北海道立総合研究機構地質研究所), 内田太郎(国土技術政策総合研究所)

「豪雨後に生じた拡大崩壊による生産土砂量の影響期間の検討」

15:00～15:15 厚井高志(北海道大学広域複合災害研究センター)

「住民アンケート調査に基づく平成29年7月九州豪雨災害の土砂移動把握と避難実態」

15:15～15:30 法覚俊(北海道大学大学院農学院)

「流域サイズと出水時の発生流木量の関係」

15:30～15:45 永野統宏(日本工営株式会社)

「平成28年8月豪雨に伴う戸蔭別川流域の流木に関する定量的評価」

(休憩10分)

15:55～16:10 宮崎知与・澤田雅代・片桐碧衣・紙本和尚(株)シン技術コンサル), 梅津亮平・甲斐郊丞(北海道帯広建設管理部), 林真一郎・小山内信智(北海道大学)

「1出水により満砂した不透過型砂防堰堤の堆砂土層の粒度組成」

16:10～16:25 谷川安平(北海道大学大学院農学院)

「溪床堆積物再移動型土石流の発達プロセスに関する画像情報を用いた実験的研究」

16:25～16:40 早川智也(日本工営株式会社)

「平成30年北海道胆振東部地震で発生した日高幌内川河道閉塞の特徴について」

16:40～16:55 濱原能成(日本工営株式会社)

「平成30年北海道胆振東部地震で発生した日高幌内川河道閉塞箇所における水文観測について」

16:55～17:10 桂真也(北海道大学大学院農学研究院)

「融雪土砂災害に対する融雪を考慮した土砂災害警戒情報の適用性の検討」

17:10～17:15 その他

17:15～17:20 支部長 講評・閉会挨拶